

部活動再開におけるガイドライン

山形市立第一中学校

1. 基本的な考え方

5月25日(月)より通常日課による授業や給食を再開し、山形市内・県内における新型コロナウイルス感染症の新たな感染者の状況、県・政府のガイドライン等を踏まえ、可能な限り感染及び拡大のリスクを低減させながら、段階的に部活動等の教育活動を拡大していくこととする。

2. 部活動の再開にあたって

- (1) 部活動再開日 令和2年6月1日(月)
1年生は、6月2日(火)：見学開始 6月25日(木)：本入部(予定)
- (2) 活動日・時間 平日3日程度から始め、段階的に増やしていく。
5校時の日 15時30分～17時30分 17時45分下校
6校時の日 16時30分～18時00分 18時15分下校
部活動毎、Aグループ(月・水・金)、Bグループ(月・火・木)2グループで行う。
1年生の見学・仮入部は、5校時の日は17時00分、6校時の日は17:30分までとする。
活動日については、活動したい部活動を選び、平日3日以内とする。
※全校での定時退校日は設けなくて、各部毎、活動日以外の日に定時退校日を設定する。
- (3) 活動場所 学校での活動とする。

3. 実施上の留意点について

- (1) 参加について
 - ① 参加は本人の希望と保護者の同意に基づく。
 - ② 担当教員は、活動前・活動中・活動後に、生徒の健康状態、顔色、活動内容の確認を行う。
 - ③ 活動時間内で、開始、終了時に、石けんで手洗いをし、自分のタオルで拭く。
 - ④ 活動前・活動後、集合時等の隊形については、多くの生徒が手の届く距離に集まらないように隊列を工夫する。
 - ⑤ 自校のみの単独練習とする。
 - ⑥ 通常の活動(部活動等)に参加していない外部関係者等は運動及び文化活動に参加させない。(臨時講師、臨時コーチ、卒業生、他校生徒等)
- (2) 感染防止対策について
クラスター発生の3条件を避けるための対策を講じる。
 - ① 換気の悪い密閉空間にしないため換気を徹底する。
 - ② 多くの人が手の届く距離に集まらない。
 - ③ 近距離での会話や大声での発生をできるだけ控える。
- (3) 活動内容について
 - ① 通常の活動とは異なる活動であることを認識する。
 - ② 部活動実施後の生徒の疲労度を考慮し、無理のない指導計画を立て、軽度な活動から段階的に実施する。

<運動部>

- ① 運動種目に関わらず、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(2m以上)を空ける。
- ② 簡易で基礎的な活動を基本とし、過度に息があがるような負荷の高い運動はしない。
- ③ 小グループで活動するとともに、屋内に多くの生徒が集まらないようにし、大声を出したり向かい合っでの発声をしたりしないようにする。
- ④ 対人競技(柔道、剣道等)においては、近距離での対人練習は行わない。
- ⑤ チームスポーツにおいては、人が密集したり接触したりする機会をつくらず個人の技能を高める練習にするなど、内容を工夫する。
- ⑥ 簡易で基礎的な活動も含め、運動を行えば呼吸が早くなることから、できる限り2m以上間隔を空ける。
- ⑦ 走る・歩く運動などにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取りを工夫する。
- ⑧ やむを得ず使い回す道具を使用する場合には使用前後に消毒を行い、生徒はこまめな手洗いをを行う。

<文化部>

- ① 吹奏楽等の練習で、息を強く吐き出したり吸ったりする活動を行う場合は、集団や向かい合っでの活動は避け、換気を行いながら、工夫して活動する。楽器の共有はしない。
- ② 総合文化部の活動においても、小グループで、3密を防いでの活動となるよう工夫する。

令和2年5月29日改訂